

# 山北地区まつりイベント情報

～ 地区内の各地域で開催されるまつりイベント情報を紹介します ～

## 「おおごと名水まつり」

平成の名水百選「吉祥清水」を活かした“まつり”が開催されます。

延長200mの大そうめん流しや産物の直売、ほか様々なアトラクションあり

- ・会場：大毎集落内「満願寺」ほか
- ・開催日時：7月9日（日）  
午前9時～午後1時ごろまで
- ・問い合わせ：大毎集落づくり委員会  
河面 0254-75-2120



## 「笹川流れ海開き・海の縁日」

名勝笹川流れに本格的な観光シーズンの到来を告げる「海の縁日」が開催されます。

魚貝類、特産品などの販売、漁師汁の販売ほか、有料イベント（遊覧船に乗って漁船パレード見学、活魚つかみ取り等）あり

※有料イベントは、予約が必要です(77-2259)

- ・会場：桑川漁港特設会場
- ・開催日時：7月2日（日）  
午前9時～午後3時ごろまで
- ・問い合わせ：村上市観光協会山北支部  
0254-77-2259



# 平成28年度地域づくり楽習会開催報告

～ 平成29年3月12日午後1時からさんぽく会館 ～

テーマを「住民一人ひとりが主人公のまちづくり」と題して、約60人が参加した今回の楽習会。第1部は「各地域等の取り組み事例の発表」、第2部は「掲げたテーマに基づいた意見交換」の2部構成で行いました。

第1部では、第2部のコーディネートを務めていただいたNPO法人都岐沙羅パートナーズセンターの



齊藤さんから、山北地区の置かれた現状を人口構成や他地域の取り組み状況を踏まえお話いただき、その後、大毎集落の加藤英人さんと山北商工会青年部の斎藤信秋さん、明治大学農学部小田切ゼミの皆さんから、地域課題を踏まえた計画づくりの取り組みや、課題解決に向けた提言等の発表がありました。

その後行われた第2部の意見交換では「買い物」をテーマに行い、各地区単位のテーブルに別れ、日常の買い物の状況から浮かび上がる課題について話し合われました。

地域から店舗が少なくなり、生鮮食料品の入手に不安を抱えている現状や、高齢化の進行で互いに支えてきたこれまでの暮らしができにくくなってきている現状を浮かびあがらせ、今後の取り組みへ活かす必要を感じた楽習会となりました。

# さんぽくまちづくり通信

第 1 8 号

発行 山北地区まちづくり協議会

発行日 平成29年（2017年）6月15日

事務局 村上市 山北支所 地域振興課 自治振興室 (住所) 〒959-3993 新潟県村上市府屋 232  
(TEL) 0254-77-3111 (FAX) 0254-77-2217 (E-mail) s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



## 定住の里づくり

～ 住民一人ひとりが主人公のまちづくり ～



### ■ 第2次山北地区まちづくり計画が始動

平成24年3月の設立総会から、これまで当初の山北地区まちづくり計画に基づき、5年間具体的な取り組みを進めてきました。しかし、広範囲に渡り捉えた計画であったため、地域の皆さんが参画する「実行性」の部分で、取り組みづらさがあったように思います。

今回平成29年4月の総会で承認されました「第2次山北地区まちづくり計画」については、そのことを踏まえ、より地域の皆さん一人ひとりの手により具体的に取り組むを進めることができる計画と位置付けています。

### ■ 基本目標は「定住の里づくり」

地域づくりの究極の目標は「ここに住んでいてよかった」と思え、終の棲家となる地域にあります。それは、まちづくり計画の基本理念である「地域の日常を活かし地域の住民が主人公になり地域資源を活かした地域づくり」を実現するところにあります。そのため当初の山北地区まちづくり計画で設定した基本目標「定住の里づくり」を第2次計画でも踏襲しています。

また、基本目標の具現化を図るため「住民一人ひとりが主人公のまちづくり」をサブテーマに掲げ、次ページ以降に紹介します各取り組みを進めます。



# 住民一人ひとりが主人公のまちづくりに向けた 4つの取り組み

先にも示しましたサブテーマである「住民一人ひとりが主人公のまちづくり」の実現に向けては、住民の皆さん一人ひとりが「まちづくり」について一緒に考え、取り組むことが大切です。そのために、まちづくり協議会では以下の「4つの取り組み」を進めます。

## ☑ 取り組み1【コミュニティの支援・連携の推進】

コミュニティ活動の充実を図り、互いに手を携え連携できる地域づくり

- 取り組み方針 1-1  
集落活動の支援による地域力の再生
- 取り組み方針 1-2  
集落、地域間連携の推進支援
- 取り組み方針 1-3  
山北地区の魅力再発信するためのテーマに基づいた事業推進



## ☑ 取り組み2【各種地域づくり団体の支援・連携の推進】

地域づくり活動を行う団体等を支援または育成するとともに、各団体が連携できる地域づくり

- 取り組み方針 2-1  
地域活性化に取り組む団体の支援と育成
- 取り組み方針 2-2  
地域づくり団体との連携を推進



## ☑ 取り組み3【地域の人材育成の推進】

地域づくり活動等の推進による地域を担う人材を育成

- 取り組み方針 3-1  
地域を担う人材の育成による地域づくり
- 取り組み方針 3-2  
地域の未来を担う子どもたちの育成



## ☑ 取り組み4【山北地区まちづくり協議会の安定運営】

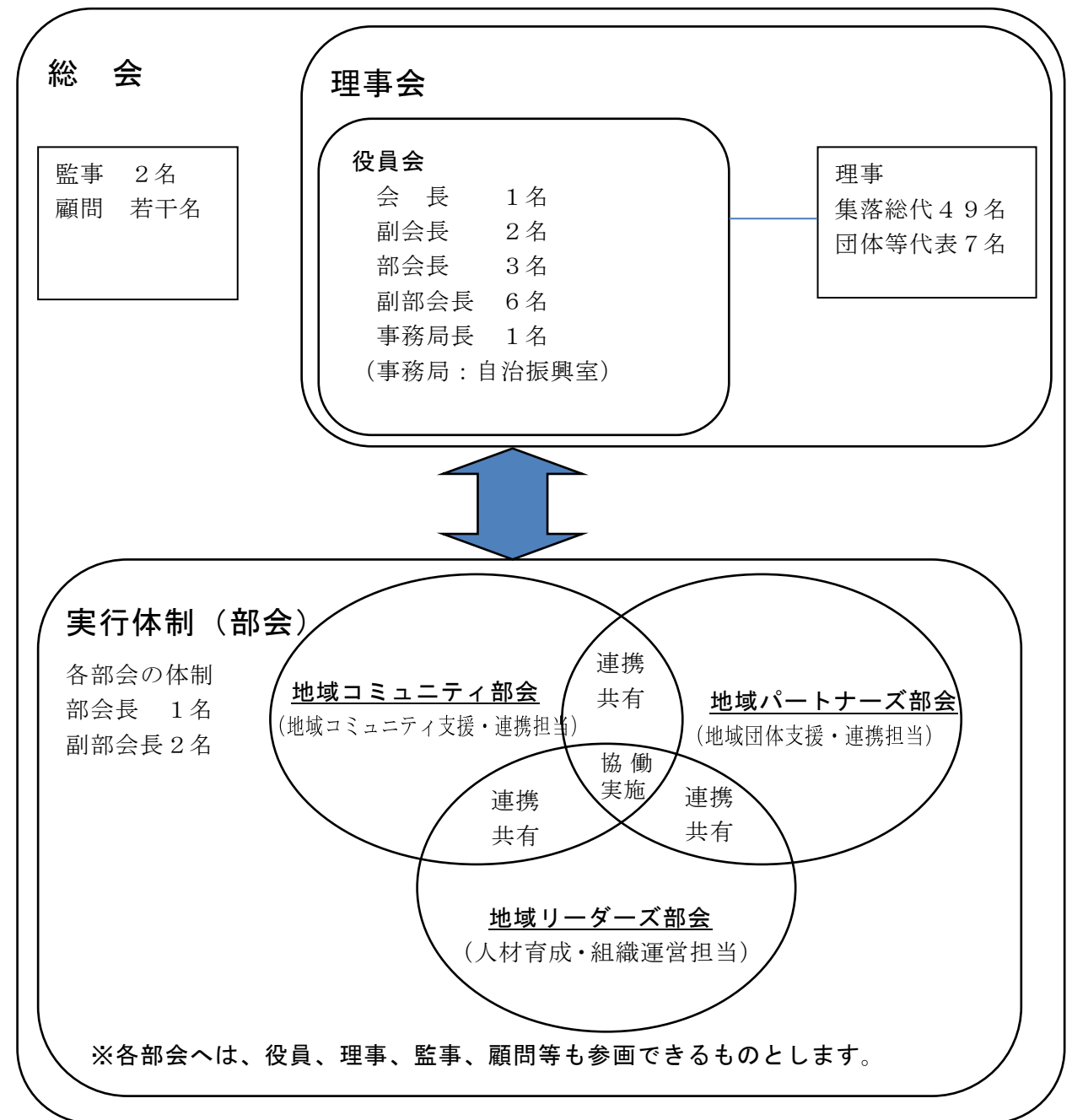
永続的な活動を目指した組織運営

- 取り組み方針 4-1  
地区住民が結集した自主事業の実施による絆の強化
- 取り組み方針 4-2  
地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供
- 取り組み方針 4-3  
活動拠点の整備を推進



## ☑ 基本目標の実現に向けた組織体制について

第2次山北地区まちづくり計画の具現化を図るため、以下体制により進めます。



## ☑ 事業実施計画を作成します

「4つの取り組み」の具現化を図るために、これまで取り組みを進めてきた事業を継続しつつ、今年度は「事業実施計画」の策定を進めます。

山北地区では、著しく少子高齢化進行し、地区内の各所で様々な「課題」を抱えている現状がうかがえます。その「地域課題」を共有し地域の皆さんと共に解決が図られるような「実施計画」の策定を目指しています。

今後、各地域に出向き、皆さんからお話しをお聞きしたり、具体的な取り組みに参画いただく機会もあるかと思いますが、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。